

IT投資管理の進め方と投資対効果の判断ポイント

日時 平成31年6月12日(水) 10:00~17:00 (6H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1972(直)

講師 前橋システムコンサルティング(株) 前橋 雅夫氏
代表取締役

対象 ◆ユーザー：情報システム部門、調達部門、プロジェクトマネージャー等
◆ITベンダー・ソフトウェア会社：システム開発・運用担当者等



主催 **一般社団法人 日本経営協会**

開催にあたって

経営に役立つIT投資の実践が求められる今日において、ビジネスの視点からITプロジェクトを選定するという作業は、企業にとって非常に重要な意思決定プロセスとなっています。しかしながら、ITプロジェクトの費用対効果を把握するための仕組みが、組織としてしっかりと確立している企業は、決して多くはないのが現状でもあります。本セミナーは、現場で使えるIT投資マネジメントの考え方を習得するための講座です。IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

- ・我が国のIT投資管理と投資評価の現状を再確認
- ・IT投資管理が抱える課題とそれを解決する各種方法論を習得
- ・IT投資マネジメントシステムの構築手順を習得

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までをお願いします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■早割・複割について【最大4,320円割引】 <教材費を含みます>

本案内状の申込書をご利用のうえ、お申込みをいただきますと、下記の特典(割引)が受けられます。申込書にはお申込み日をご記入のうえ、ご利用される特典に○印をお付けください。ただし同時にお申込みの場合に限ります。

- 早割(早期申込割引) 開催日が申込日より2カ月以上先の講座について参加料を1名あたり2,160円(税込)割引させていただきます。
- 複割(複数申込割引) 複数名のお申込みで、参加料を1名あたり2,160円(税込)割引いたします。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■参加料(テキスト・資料代含)

	参加料	消費税	合計
NOMA会員(1名)	34,000円	2,720円	36,720円
一般(1名)	39,000円	3,120円	42,120円

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先 **一般社団法人 日本経営協会**
企画研修グループ ●担当：石塚
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1972(直) FAX (03) 3403-8417
URL <http://www.noma.or.jp>

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛 FAX (03) 3403-8417 平成 31 年 月 日 事務局 使用欄 No.

参加申込書 「IT投資管理の進め方と投資対効果の判断ポイント」 12657 2019.6/12 10:00開講 NOMA

企業(団体)名 フリガナ TEL 業 種 会 員 一 般 (該当にレ印をつけて下さい)

所在地 〒 FAX 従業員数 名

参加者氏名	所属・役職	早・複割	メールアドレス
フリガナ		早・複	e-mail:
フリガナ		早・複	e-mail:
フリガナ		早・複	e-mail:

派遣責任者 フリガナ 所属・役職 メールアドレス e-mail:

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②情報システム関連セミナーなど本会セミナー(事業)のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。□不要 ※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

- ・我が国のIT投資管理と投資評価の現状を再確認
- ・IT投資管理が抱える課題とそれを解決する各種方法論を習得
- ・IT投資マネジメントシステムの構築手順を習得

プログラム内容

1. 今なぜIT投資マネジメントなのか

- ・情報処理関係諸経費の推移
- ・IT投資評価の状況
- ・代表的な費用対効果分析手法
- ・工場設備の投資判断
- ・IT投資に適用する場合の課題
- ・IT投資案件の種類と特性
- ・IT投資と経営者の関係
- ・IT投資マネジメントの必要性

★演習論題1 投資効果は金額換算するべきか

IT投資の費用対効果を説明するときに、投資効果はできるだけ金額換算して、それを説明するべきか？

2. IT投資マネジメント概論

- ・米国の動向
- ・ITバリューチェーンの考え方
- ・バランススコアカードの活用
- ・ITIM成熟度モデル
- ・ポートフォリオマネジメント標準
- ・日本の動向
- ・IT投資価値評価に関する調査研究

3. IT投資マネジメントシステムを構築する

- ・ビジネス価値を定義する
- ・財務的効果と戦略的効果
- ・ITバリューチェーンを具体化する
- ・IT投資企画書のフレームワーク

- ・IT投資委員会と決裁基準
- ・ITバランススコアカード
- ・開発工数の妥当性評価
- ・要員単価の妥当性評価
- ・ソフトウェアメトリックスの活用
- ・自社利用ソフトウェアの資産性
- ・IT投資ポートフォリオモデル
- ・戦略型投資のマネジメント
- ・インフラ型投資のマネジメント
- ・改良型投資のマネジメント
- ・CISR型ポートフォリオモデル
- ・JUAS型ポートフォリオモデル
- ・JIPDEC型ポートフォリオモデル
- ・Exitルール
- ・プロジェクトの自己目的化
- ・導入後レビューを徹底させる

★演習論題2 社内人件費は費用計上するべきか

IT投資の費用対効果を説明するときに、社内人件費も当該案件の費用として認識して、それを費用計上するべきか？

★演習論題3 説明責任は誰が果たすべきか

戦略型投資の導入後効果の説明責任は、IT部門が中心となって果たすべきか、それとも利用部門が中心となって果たすべきか？

4. まとめ

- ・IT投資マネジメントシステムの構築

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

前橋システムコンサルティング(株) 代表取締役 **前橋 雅夫** (まえはし まさお) 氏

住商情報システム株式会社、セイコーインスツルメンツ株式会社を経て、2000年に前橋システムコンサルティング株式会社を設立。

ITIM (IT投資マネジメント) とSTMS (システムトラブルマネジメント) に関するコンサルティング事業を展開している。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。